

宗像市市民参画等推進審議会次第書 会議録（要点筆記）

日時	令和4年11月7日（月）10:00～12:00
場所	宗像市役所 202会議室
委員	■ 新井佳代子 ■ 鎌田隆徳 ■ 木村健次 ■ 佐藤靖成 ■ 鈴木邦治 ■ 種田明美 ■ 東博子 ■ 福岡佐知子 ■ 山森直哉 ■ 吉村義廣 （五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ協働推進課政策係（杉山係長、成瀬、西山）

1. はじめに

（部長あいさつ）

- ・本日は市民サービス協働化提案制度の事前学習会である。各委員には、屈託のない意見や質問を頂戴したい。

（会長あいさつ）

- ・市民サービス協働化提案制度は特徴がある制度であり、市民や団体の良さを生かしたものである。担当課からの説明をうけ、審査会に臨んでほしい。

2. 宗像市市民サービス協働化提案制度提案事業の審査にかかる諮問

八木部長から東会長へ諮問書を手交。

3. 協議事項等

- （1）令和4年度（令和5年度開始コース）市民サービス協働化提案制度の審査方法等について

事務局から資料に基づき説明。募集要項、審査の方法、答申までのスケジュール等を確認。

- （2）個別提案（詳細等について）

提案団体：一般社団法人 住マイむなかた

担当課：学校管理課

事務局から提案団体の概要、提案事業の内容等について説明し、担当課から事業の詳細、担当課意見等について説明した。

<<質疑応答等>>

(質疑) 修繕の上限はいくらになるのか。

(担当課) 原則、機能復旧のみが対象となっているため、130万円が上限の金額となっている。130万円を超えると入札する必要があるため、施設の拡張などについては対象に含まれていない。夏休みにおこなっている大規模改修工事はこれまでどおり市が実施することになっている。

(質疑) 業者への入札は、いくらからいくらまでが対象となっているのか。

(担当課) 宗像市の契約の規則では、予定価格が130万を超えるものについては入札案件となっている。そのため、今回の提案事業においては、130万円未満の案件のみを対象としている。

(質疑) 今年度から契約し、実施しているが、契約内容に変更はないのか。

(担当課) 今年度の契約内容から変更の予定はしていない。

(質疑) 予算書に記載されている金額は、これまでかかっていた修繕・工事費から事務局員賃金が上乗せされた金額との認識でよいか。

(担当課) 昨年度までは事務の業務を市職員が日中実施しており、残業等も加味するとそれ相当分の費用はこれまでもかかっており、これまでの金額と変わらない認識である。

(質疑) これまで日中に業務を実施しているとのことだが、市職員の効率性の観点からみてどうなのか。

(担当課) おおよそ年間で400件の小規模修繕が発生し、1日に1、2件が現場対応に時間がとられていた。それが改善されたことによって、日中に大規模修繕や政策的業務などのマネジメント業務に取り組んでいる。

(質疑) 小規模の修繕についても市職員も同行して確認するのか。

(担当課) 小規模の修繕については、写真での確認などで対応し、市職員は派遣せずに学校が対応してもらうようにしている場合もあり、職員の派遣回数は減少している。

(質疑) 団体が業者を選定するときに市は関与するのか。

(担当課) 市からは、市内業者を優先し、分散して発注をかけることをお願いしており、業者の選定に市は直接的に関与していない。

(質疑) 単価など金額面に対して、市から依頼することはあるのか。

(担当課) 金額面については、特別に市から依頼はしていない。

(質疑) 業者を選定するにあたっては、透明性がある方法をしなければいけないのではないか。協働委託する上で市も責任を負うことがあるのではないか。

(質疑) 提案団体はこれまで市営住宅の営繕業務を担ってきているが、団体の運営ルールに透明性があるのか。

(担当課) 本事業も市営住宅営繕業務での方法を参考にして実施し、業者が作成した設計書等をチェックするなど市が契約の規則に則って妥当性を確認することを考えている。

(質疑) 土日や時間外対応について、学校現場の声はどのような意見がでているのか。

(担当課) 土日については、原則、学校も休みとなっているので、団体による対応は考え

ておらず、もし緊急的に対応が必要な場合は、市が対応することになっている。

(質疑) 6月からの半年の間で団体が対応したものと市が対応したものはどれくらいあるのか。

(担当課) 市が対応したものは、月に1、2回程度と台風被害による対応のみとなっており、団体の対応件数は9月時点で約140件になっている。

(質疑) 修繕の予算額が委託費を超えてしまったときはどのような対応になるのか。

(担当課) 委託費を超えた場合は、これまでどおり市が対応することになる。必要に応じて補正予算を計上し、変更契約することも検討している。

(質疑) 派遣員報酬が30万未満と30万以上の工事で約2倍異なるのはなぜか。

(担当課) 30万を超えると設計書を作成する必要があるため、報酬額が増加している。

(質疑) 団体が記載している予算と市が提示している予算の額が異なるのはなぜか。

(担当課) 団体が示しているのは令和5年度に団体が想定している金額となっており、市が提示しているのは令和4年度の市の予算である。

提案団体：公益社団法人 宗像青年会議所

担当課：文化スポーツ課

事務局から提案団体の概要、提案事業の内容等について説明し、担当課から事業の詳細、担当課意見等について説明した。

<<質疑応答等>>

(質疑) 団体が得る収入はないのか。

(担当課) 低額な予算の中で団体にやりくりしていただいている。団体が得る収入はほとんど無いのではないかとと思われる。

(意見) 宗像市の構成遺産が世界遺産に登録されて5周年を迎え、だんだんその意識が薄れてきているのではと感じている。世界遺産に関する内容を含め郷土愛を育むような内容で事業を実施してはどうか。

(担当課) 昨年度は、団体から世界遺産をPRしたいと意見がでており、パンフレットに世界遺産の情報を掲載している。ふるさとの良さを知ってもらいたいとの認識は、団体と共有しており、世界遺産を含めて参加者に知ってもらえる場を作りたいと考えている。

(意見) 青年会議所が世界遺産に関する動画を作成し、非常にわかりやすい内容のものが出来上がっていた。会場にその動画を流すことも考えてほしい。

提案団体：一般社団法人 PENTAGON

担当課：コミュニティ協働推進課

事務局から提案団体の概要、提案事業の内容等について説明し、担当課から事業の詳細、担当課意見等について説明した。

<<質疑応答等>>

(質疑) 前回の特記事項に記載されている人まち補助金採択団体が補助金終了後も活動が継続できるように趣旨説明すると記載があるが、どのようになっているのか。

(担当課) これまでは補助金終了後の団体の支援がなかなかうまくいかなかったと聞いている。過去に活動をやめてしまった団体は、備品目的の申請が多くみられたことから本補助金の要綱を見直し、また補助金の趣旨説明を申請団体に行っている。令和元年から提案団体が本業務を担うようになってから補助金終了後も継続して支援していける関係性を築いており、補助金終了後も活動をやめる団体は少なくなってきた。

(意見) 団体がこれまで実施していた事業に加えて、新規の事業を開始するなど工夫して事業を実施していると感じている。

(3) 人づくりでまちづくり補助金について

事務局から資料に基づき変更点等について説明。

(事務局) 令和5年度より人づくりまちづくり補助金について、備品購入費の補助率の変更、及び1次審査の廃止を決定してよろしいか。

(意見) 異議なし。